

ふるさと散歩 1月

2020年1月18日(土)

大河原から笠置へ

JRハイキング共催 vol.154

～木津川沿い東海自然歩道を歩く～

主催 ふるさと案内・かも

☎&Fax 0774-76-3989

<http://furusato-kamo.sakura.ne.jp>

★★★

歩程約 10km

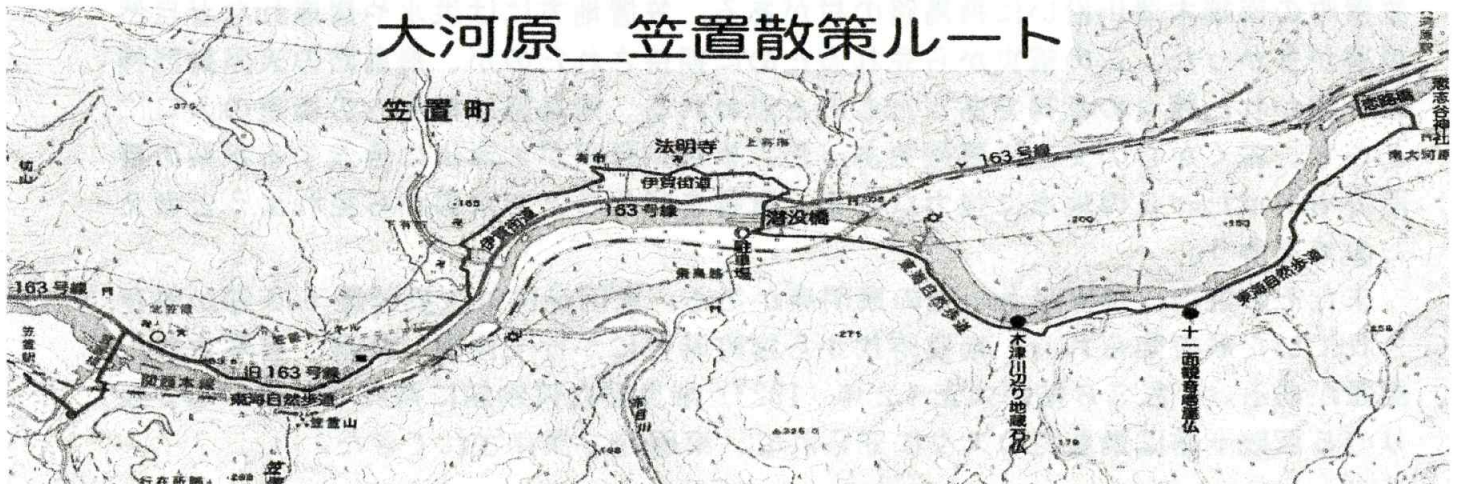


(集合)JR 関西線大河原駅 10時

(解散)笠置駅 14時頃(加茂行 14:28)

(コース)大河原駅→恋路橋→恋志谷神社→十一面観音石仏→地蔵石仏
東明寺・天照御門神社→飛鳥路(昼食・トイレ)→沈下橋→有市
→法明寺→笠置大橋→笠置駅

大河原__笠置散策ルート



恋志谷神社

京都府の最東端南山城村にある神社でR163の木津川を挟んで南側、森を背にしてひっそりとたたずむ社。天満宮をはじめ十三社が合祀されている。恋志谷神社もその一つで恋愛成就、子授け、安産の神として知られている。

ネットで知った若い女性が遠方から足を運んでお詣りする。時代は変わっても恋が人々の心をとらえることに変わりはなく、恋の成就を願う気持ちも変わらない。

木津川河川敷に降り、通称「恋路橋」を渡ってお詣りすると御利益が増すという噂もある。なお、この「恋路橋」は沈下橋と呼ばれ、増水時には橋が沈んでしまうので



注意が必要。

十一面観音石仏 恋志谷神社から前の道路を東海自然歩道へと進むと、大河原の十一面観音石仏がある。左側の斜面に突き出した巨岩は高さ10mに及ぶ大岩で、その岩肌に高さ110cmの船形光背を持つ像高95cmの、左手に蓮華瓶を右手に錫杖を持つ長谷寺型十一面観音を半肉彫りしている。天文3年(1534)の銘があり、室町後期の造立である。ちなみに木津惣墓跡にも、像形・年代の同じ十一面観音が祀られている。右下の高さ48cmの来迎印の阿弥陀如来立像は少し後に刻まれたものである。



地藏石仏

笠置町へ入る村境にあたる所の右側に地藏石仏が建っている。総高132cm、像高は86cmで船形光背を負って、左手に宝珠右手に錫杖を持ち蓮華座に立っている。像の右側の銘は文亀2年(1502)壬戌と読める。お顔は穏やかな表情が見てとれる。



笠置町飛鳥路(東明寺・天照御門神社・昼食トイレ)

笠置町の南端木津川沿いに飛鳥路の村がある。笠置地方には洪水や崖崩れなど自然災害が多かった。この被災から免れるために期待されたのが、飛鳥路の天照御門神社へ招かれた諸々の竜神であったものと思われる。飛鳥路は柳生への街道の入口にあたり、古くからの交通の要所であった。また布目川が木津川に合流する水系の要所でもあった。この地点に強力な水神、竜神を祀ることで水害から免れようと考えたのであろう。

またその境内に神宮寺としての東明寺がある。東明寺には大般若経600巻が保存されていた事で知られる。奈良時代から室町時代にかけて修復、修理、書写された記録がある。うち38帖が大正12年(1923)奈良国立博物館に寄託されている。残りの5百数十帖は飛鳥路の人々に守られて、東明寺で保存されてきた。

法明寺

法明寺薬師堂には平安時代に造立された仏像をはじめ多くの文化財が伝わっています。五体の平安仏の内、木造釈迦如来立像、木造吉祥天立像、木造増長天立像は国の重要文化財である。何れも奈良国立博物館に寄託されている。

2月ふるさと散歩のご案内

2020年2月29日(土) 集合 加茂駅9:15

解散 12:30

～加茂駅東の古跡から加茂宿へ～

青少年センター

参加費 200円

常念寺、御霊神社、岡田鴨神社などを巡り、その後「船屋のひな祭り」を楽しむ。

